経済史概論 II

科目ナンバリング　ECH-102
選択必修　　2単位

清水　雅大

1. 授業の概要（ねらい）

現代世界における支配的な経済システムである資本主義は、物質的な豊かさをもたらした一方で、深刻な労働問題や経済格差、環境破壊を生み出している。このような資本主義社会を客観的批判的に再考し、より良い経済生活についての見通しを得るために、資本主義の史的展開を学ぶことは不可欠である。経済史概論Ⅱでは、主に近代の西ヨーロッパおよび北アメリカ地域における産業革命を取り上げ、工業化の過程について学ぶ。

2. 授業の到達目標

・近代資本主義の確立過程について、経済史的な概念を正確に理解したうえで説明することができる。
・近代資本主義の特徴を理解し、これを客観的批判的に考察することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点40%（課題への取り組み、授業への参加度）
定期試験の成績60%

4. 教科書・参考文献

教科書
馬場哲・山本通・廣田功・須藤功　エレメンタル欧米経済史　晃洋書房、2012年
参考文献
斎藤幸平　人新世の「資本論」　集英社、2020年

5. 準備学修の内容

・高校世界史の欧米近代史の分野を復習しておくこと（授業では高校世界史の知識を前提に講義します）。

6. その他履修上の注意事項

・「経済史概論Ⅰ」を履修していること。
・授業では毎回指定教科書を使いますので、受講する場合、教科書の購入は必須です。期末試験では教科書のみ「持ち込み可」とします。
・授業中の迷惑行為（私語、飲食、携帯電話、遅刻・途中退室など）は厳禁です（守られない場合には受講を認めない）。
・積極的・主体的な授業参加を求めます。

7. 授業内容

【第1回】　〈オリエンテーション〉
経済史概論Ⅱで学ぶこと（概要、目的、方法）、テキスト、成績評価、受講上の注意について
【第2回】　「最初の工業国家」イギリス
【第3回】　イギリスの工業化と人口・農業・商業
【第4回】　イギリス産業革命とその帰結
【第5回】　ヨーロッパ大陸の産業革命
【第6回】　小括と課題
【第7回】　アメリカ合衆国の独立
【第8回】　アメリカ合衆国の産業革命
【第9回】　「パックス・ブリタニカ」の時代
【第10回】　第二次産業革命の時代
【第11回】　世紀転換期のイギリス経済
【第12回】　世紀転換期のドイツ・フランス経済
【第13回】　世紀転換期のアメリカ経済
【第14回】　【オンライン講義】グローバル資本主義について
【第15回】　まとめと定期試験